

登別市の男女共同参画事業の推進状況



<登別市男女共同参画シンボルマーク>

本書は、登別市男女共同参画基本計画（第2次）第2次実施計画（平成28年度～30年度）の平成28年度の実施結果をまとめたものです。

◆ 目 次 ◆

目標Ⅰ 男女の人権が尊重される社会の実現

基本的施策1	意識変革のための普及啓発活動の推進	1
基本的施策2	男女共同参画に向けた教育・学習活動の推進	7
基本的施策3	女性への暴力やあらゆる権利侵害の防止	12

目標Ⅱ 男女があらゆる分野に参画することができる社会の実現

基本的施策1	政策・方針決定の場への参画の促進	20
基本的施策2	地域活動における男女共同参画の促進	21
基本的施策3	家庭における男女共同参画の促進	23
基本的施策4	国際交流の推進	25

目標Ⅲ 雇用等の分野における男女平等の実現

基本的施策1	男女が安心して働き続けることのできる社会の実現	26
基本的施策2	男女の仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)	29

目標Ⅳ 健康的な生活を生涯にわたって送られる社会の実現

基本的施策1	全ての人々が健康で安心して暮らせる環境の整備	32
基本的施策2	子育て支援体制の充実	39

計画の推進体制

1. 市における推進体制の整備	50
2. 市民による推進体制の整備	52

平成28年度男女共同参画事業報告書

目標Ⅰ 男女の人権が尊重される社会の実現

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画(目標値)	その他特記事項
基本的施策1 意識変革のための普及啓発活動の推進					
(1) 広報・啓発活動の充実					
市民サービス	① 講演会、学習会の開催	<p>① 登別市男女共同参画フォーラム2016 女性の老後「いつまでも私らしく生きる」を考えるをテーマに「男女共同参画社会」の実現に向けて取り組みを推進する中で、高齢者の生活に着目し、・公益財団法人北海道立女性協会の共催により講演を行い70名が参加した。</p> <p>② プラタナス・フォーラム 「男女共同参画社会づくりについて～地元で活躍されている方々を迎えて」と題して、家庭では、男女関係なく家事を行うなどの講演と演奏を行った。併せて平成28年度胆振女性リーダー養成研修参加者報告会も行い30名が参加した。</p> <p>③ のぼりべつ男女平等参画懇話会 ジェンダーフォーラム～山川菊栄DVD上映会を開催し、男女平等参画社会づくり推進にいかす上映会を行い8名が参加した。</p> <p>④ 三市合同第15回男女共同参画週間記念 フォーラム「ドキュメンタリー映画何を怖れるフェミニズムを生きた女性たち」の上映会を開催し、女性の地位向上とよい社会をつくるため行い、100名近く参加した。</p>	男女共同参画の主旨に沿った講演内容であったが参加人数が少なかったため、より周知が必要である。	女性団体のフォーラムと登別市男女共同参画社会づくり推進会議の講演会等を開催する。 プラタナス 1回開催、のぼりべつ男女平等参画懇話会1回開催。 登別市男女共同参画社会づくり推進会議1回開催、目標参加数80名	

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画(目標値)	その他特記事項
	② 情報紙「アンダンテ」の編集・発行	男女共同参画社会づくりに向け、登別市男女共同参画社会づくり推進会議の委員と協働により、情報紙「アンダンテ」の企画・編集し、情報紙「アンダンテ」13号を3月に発行し、町内会回覧、市内企業等へメール配信した。3,000部作成。	「アンダンテ」掲載の女性が活躍されている職場の訪問選定には、他部署との情報共有が必要である。	情報紙「アンダンテ」の発行を3月に1回行う。	
	③ 男女共同参画情報コーナーの充実（市内5か所のパンフレット棚）	鷺別・登別・登別温泉の3支所、市民会館、本庁舎市民ホール計5箇所のパンフレット棚に、男女共同参画関連の啓発パンフレットや冊子、行政資料などを配置し情報提供を行った。	1年に2回くらいの情報提供となっていることから、内容を十分に図ることが必要である。	男女共同参画の啓発パンフレット棚へリーフレット等の情報提供を引き続き行います。	
	④ 男女共同参画週間中のポスターの掲示（市内5箇所）	男女共同参画週間（6月23日～29日）にあわせて、鷺別支所・登別支所・本庁舎・市民会館・図書館の市内5箇所に国からのポスターを掲示し、気運の醸成を図った。	男女共同参画週間が1週間と短いため、掲示はしているが広く市民にいき届いていない。	継続してポスターの掲示を男女共同参画週間中に掲示する。	
	⑤ 出前フリートーク	登別市男女共同参画社会づくり推進委員との協働により、男女共同参画出前講座「男性の料理教室」に於いて意見交換会を行った。	地区連合町内会ごとに実施しており、参加人数が異なることから、事前に周知徹底を図る。	男女共同参画出前講座「男性料理教室」を実施する。対象町内会は新生地区連合町内会とする。	
	⑥ 小学4年生向け啓発冊子（男らしく？女らしく？自分らしく！）	人権の尊重や男女平等について、保護者と一緒に活用してもらえる内容の冊子を登別市男女共同参画社会づくり推進会議の委員と協働により作製した。また、男女共同参画の意識や意見を把握するためアンケート調査も行った。	保護者向けアンケートの設問で「男女共同参画」というテーマの関心度が40.1%と低いことから引き続き啓発が必要である。	4年生とその保護者を対象に冊子の配布とアンケートの実施を行う。	

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画(目標値)	その他特記事項
	⑦ 市民による男女共同参画に関する作品募集（標語・習字等）	男女共同参画週間にあわせて、男女共同参画をより身近に感じてもらうため標語、習字、ポスターの募集し展示した。	市内全校からの応募となっていないので、各学校の協力を得る必要がある。	男女共同参画週間に向けて作品の募集、展示を行う。	
	⑧ 男性への男女共同参画の啓発	登別市男女共同参画社会づくり推進委員との協働により、男女共同参画出前講座「男性の料理教室」を平成29年2月24日開催し15名が参加した。	開催時期が厳寒となり参加者が少人数であった。	対象の地区連合町内会へ開催時期についての依頼をし、早目の日程で「男性の料理教室」を行う。	
	⑨ ホームページの充実	男女共同参画に関する情報提供及び開催事業等を随時掲載した。	男女共同参画の開催事業等を早目に掲載する。	情報や開催事業等について、迅速に対応していく。	
	⑩ インターネットなどを有効に活用した広報・啓発活動	市ホームページに男女共同参画に関する作品募集等や、国や北海道の事業等を紹介した。	開催事業が迫っているものによっては、掲載が間に合わないものもあった。	男女共同参画に関する事業及び国や北海道の事業を引き続き啓発活動を行う。	
	⑪ ワーク・ライフ・バランスの考え方を様々な職種、世代、地域へ女性活躍推進法に基づく多様な視点からの広報・啓発活動	登別市男女共同参画情報紙「アンダンテ」で女性が活躍している職場を訪問して掲載した。 国や北海道の啓発資料等を市民ロビー等に設置した。	女性が活躍されている事業所の選択に苦慮した。	「広報のぼりべつ」、「アンダンテ」へ掲載し啓発を図って行く。	
市民協働	⑫ 町内会（連合町内会）との学習会	町内会女性役員を対象とした「市内視察研修会」を実施。まちの魅力を育てると共に、女性の視点を生かした地域づくりの意識啓発を推進した。			本研修会の主催は登別市連合町内会

担当グループ	主要事業	H 2 8 事業実績（内容・成果）	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画(目標値)	その他特記事項
1- (1)	男女共同参画社会づくり 推進会議コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・市民周知や広報の啓発活動は継続して行うことが重要であると考えます。 ・働く女性が増えてきていることや、働くことへの価値観も変化してきていることから、商工会議所や職業訓練校などと連携した広報活動を行っていくことも検討した方が良いと思います。 ・小学4年生向け啓発冊子ですが、これからの社会に出て行く子供たちに小学生の頃から、男女共同参画について意識してもらうために良いことだと思います。 ・小学生を対象としたポスターや標語は、若い世代への啓発活動としてよい取り組みであるが、応募する学校が固定化している。依頼方法を工夫するなど全市的に協力を得られるような取り組みを期待します。 			
(2) 情報収集・提供の推進					
市民サービス	① 広報のぼりべつ「小特集」による情報提供	登別市男女共同参画社会づくり推進委員との協働により、メインテーマとし「子どもの貧困」を広報部会で企画・編集会議を経て記事を掲載した。	男女共同参画の主旨を理解してもらえよう掲載内容を厳選する必要がある。	広報掲載記事について、登別市男女共同参画社会づくり推進の広報部会において企画編集し11月号広報紙に「小特集」を掲載する。	
	② ホームページによる情報提供（基本計画・実施計画・推進会議・推進会議議事録掲載）	登別市男女共同参画基本計画(第2次)のぼりべつ・はあもにプラン 21 第2次実施計画(平成28年度～平成30年度)について掲載した。	推進状況等を市民に理解してもらおうよう内容の掲載に努める。	事業の実施状況にかかる実績報告書の様式を改め課題及び計画を追加し市民にわかり易い内容として情報提供を行う。	
	③ インターネットを利用しての近隣都市の活動状況等収集	男女共同参画に関する記事を収集し、登別市男女共同参画社会づくり推進会議の活動資料の参考とした。		先進の自治体の活動を参考として行く。	
	④ 男女共同参画週間、女性に対する暴力をなくす運動の周知	各施設に冊子の配布と登別市男女共同参画情報紙「アンダンテ」に掲載した。	広く市民に知って頂くために登別市男女共同参画情報紙「アンダンテ」以外でも周知した方が良い。	各機関からの情報提供を「アンダンテ」、「広報のぼりべつ」で周知する。	

担当グループ	主要事業	H 2 8 事業実績（内容・成果）	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画(目標値)	その他特記事項
図書館	⑤ 図書館の図書の充実と整備	図書の充実と書架の整備に努めた。		引き続き、図書の充実と書架整備に努める。	
	⑥ 図書館の女性棚（女性関連図書）の充実	アーニス分館の男女共同参画関係資料コーナーの充実に努めた。	アーニス分館に専用コーナーがあることのPRが十分でなかった。	引き続き、男女共同参画コーナーの充実に努めるとともに、市民への周知に努める。	
	⑦ 女性関連図書の情報提供	「家庭女性問題」(250冊)「女性労働問題」(170冊)に関するブックリストの提供を行った。	ブックリストの内容の更新を行わなかった。	「家庭女性問題」「女性労働問題」のブックリストの更新を行う。	
1-(2) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		<p>・アーニス専門コーナーは、奥にあり静かなのでゆっくり本を見られる反面、場所がわかりづらいので利用者にわかりやすいよう入口にコーナーの表示があると良いと思います。</p> <p>・ホームページを見やすいようにしたりSNSなどを活用し、男女共同参画社会づくりに関する知識や取組を発信できるような仕組みを考えてみてはどうでしょうか。</p>			
(3) 実態調査の実施					
市民サービス	① 企業や各種団体の女性の参画状況調査 【町内会会長・PTA会長・市内事業所女性役職員数（労働基本調査隔年実施）】	町内会(94単位町内会) 女性会長 1人 女性副会長22人 PTA会長（小学校8校中、中学校5校中） 女性会長2名 市内事業所女性役職員は隔年実施のため平成28年度実施年ではない。	更なる女性の参画推進に強める必要がある。		
	② 男女共同参画社会づくり推進会議事業実施後のアンケート調査	登別市男女共同参画フォーラム参加者、出前講座「男性の料理」参加者、男女共同参画の意識把握するため4年生とその保護者に対してアンケートを実施した。	アンケート回収率を100%に近くなるように実施して行きたい。	各事業のアンケートを実施し、事業の参考といて行く。	

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画(目標値)	その他特記事項
	③ 調査結果の情報提供	登別男女共同参画社会づくり推進会議へ結果報告するとともに情報紙「アンダンテ」に調査内容の一部を掲載し市民周知をした。	ホームページ等でアンケート結果について公表する必要がある。	各種事業で調査したものについては、市民へ周知して行く。	
1-(3) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		<ul style="list-style-type: none"> ・町内会、PTA役員にも男女共同に関するチラシを配布することによって意識が向上し女性の参画が進むのではないのでしょうか。 ・市内調査だけでなく、全国や全道等の数値と比較することで、登別市がどの程度の参画状況にあるのかを示した方が、理解を得やすいのではないのでしょうか。 ・女性の職場と云われた看護、保育の現場で働く男性の職場環境等も知りたいと感じます。 			
(4) 市民団体の育成と普及啓発活動拠点の整備					
市民サービス	① 市民団体の事業支援（のぼりべつ男女平等参画懇話会及びプラタナス）	1-(1)-①に掲載		各女性団体（プラタナス、のぼりべつ男女平等参画懇話会）で開催される事業の支援を行う。	
市民サービス	② 登別市男女共同参画社会づくり推進会議、のぼりべつ男女平等参画懇話会、プラタナス協働による活動	1-(1)-①に掲載		登別市男女共同参画社会づくり推進会議主催のフォーラムを開催する。目標参加数80名	
1-(4) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		<ul style="list-style-type: none"> ・今後においても男女共同参画を推進する市民団体の活動や支援の継続を望みます。 			

担当グループ	主要事業	H28事業実績(内容・成果)	H28事業の課題	H29年度事業計画(目標値)	その他特記事項
基本的施策2 男女共同参画に向けた教育・学習活動の推進					
(1) 家庭における男女平等の推進					
社会教育	① 市民生涯学習推進講座(家庭教育学級)	幼稚園、小学校、保護者の連携による各学級の学習会のほか、全体学習会(講演会)、活動展を行った。 学級数:12学級(小学校8学級、幼稚園4学級) 各学級学習会:41回、1,034名参加 全体学習会:2回、36名参加 活動展:5学級参加、67作品	共働き世代が多いこともあり、学習会の参加者が少ないため、保護者の参加しやすい時間帯や日程を含めた開催日の検討が必要である。	H28年度と同様の内容で事業を進める。	
市民サービス		1-(1)-⑧に掲載			
市民サービス	② 女性活躍推進法に基づく「ワーク・ライフ・バランス」の理解促進	1-(1)-⑩に掲載			
2-(1) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が参加しやすいよう内容や開催日の検討を期待します。 ・男女が家庭における仕事と生活の調和を図れるように女性の就労、就業継続や男性の家庭、地域への参画に向けた取り組みが必要ではないかと思えます。 ・家庭教育学級やPTA活動は、子育て世代の男女平等を推進するよい場所となることから、様々なメニューの出前講座やミニ講座などを提供できるとよいと思えます。 			
(2) 学校における男女平等の推進					
学校教育	① 人権教育等の理解を深める図書の購入の推進	読書活動をととして児童生徒の情操教育を推進し、人権や性教育、食育、キャリア教育等、男女共同参画にかかわる図書の選定や購入に努めた。また、関係図書を児童生徒に紹介したり教師の指導に活用した。	特になし	H28年度と同様の内容で事業を進める。	

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画(目標値)	その他特記事項
学校教育	② 人権の尊重、男女相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなどに関する児童生徒の発達段階に応じた指導の推進	小学校、中学校では、人権尊重の考え方を基本に、日常の様々な教育場面で男女相互理解と協力の意識を育てる指導を行った。また、学校によっては、人権擁護委員等の外部関係者の協力を得て「思いやり」や「人とのかかわり」について、人権教室を開催した。	特になし	28年度と同様の内容で事業を進める	
	③ 命の大切さや男女の心や体について理解を深める性教育の実践	性に関する指導は、学年別指導計画に基づき、保健、理科、学級活動、生活科等の授業時間に行った。また、一部の学校では、養護教諭、保健師等による特別授業や講演会を開催し、命や生き方、心や体について児童生徒とともに考えた。	特になし	28年度と同様の内容で事業を進める	
	④ 児童生徒一人一人が自らの生き方を考え、主体的に進路を選択する能力、態度を身に付ける進路指導等の充実	道徳や総合的な学習等の授業の中で、人としての在り方や自分の夢や将来等について考えを深める指導を実践した。中学校では、職場体験や学校訪問等の体験活動を進路指導に取り入れ、生徒が主体的に自分の進路について考えたり、選択できるよう指導工夫に努めた。	特になし	28年度と同様の内容で事業を進める	
	⑤ 男女を問わず、一人一人が健全な食生活を実現するための能力を養成する食育の推進	健康安全教育の中に、食に関する指導を位置付けて、正しい知識と望ましい習慣を養うための指導に努めた。また、小学校では養護教諭・栄養教諭との連携を図り、その専門的な指導の中で、食の大切さについて児童とともに考えた。	特になし	28年度と同様の内容で事業を進める	
	⑥ 教職員への男女共同参画事業に関する情	人権教育等の理解を深めるよう、道徳教育、人権教育、性教育、キャリア教育等の研修会の	特になし	28年度と同様の内容で事業を進める	

担当グループ	主要事業	H 2 8 事業実績 (内容・成果)	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画(目標値)	その他特記事項
	報提供や人権教育研修への参加促進	情報を提供した。			
2-(2) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		<p>・「他人を思いやること」、「命を大切にすること」、「人と関わること」の大切さを機会あるごとに指導してほしいです。</p> <p>・学校の中で男女平等が児童・生徒の中に定着させるためには、情報提供や参加促進だけではなく研修する機会を設けるなど意識を高めて行くことを望みます。</p> <p>・「LGBT」問題など「性」そのものにとらえ直す考え方が広がっていることから、男女平等を推進するためにも、低年齢から正しい「性教育」を行う必要があると思います。</p>			
(3) 保育所や幼稚園等における男女平等の推進					
子育て	① 登別市私立幼稚園協会への情報提供	私立幼稚園協会と意見交換及び情報提供を行った。	子ども・子育て新制度へ移行した事業者と移行していない事業者が混在しているため、より情報提供等の機会を増やすことが必要である。	H 2 8 年度と同様の内容で事業を進める	
	② 保育士や教諭、保護者への研修機会のPR	保育所・幼稚園それぞれが専門及び合同研修会へ出席しており、それらへの積極的な参加を促した。 また、幼稚園協会へ職員研修のための補助金を交付した。	子ども・子育て新制度へ移行する事業者については、平成29年度より研修のための補助金を廃止したことや、研修受講できる職員数が限られていることから、幼児教育に関わる者に対する研修受講機会を増やすことが必要である。	幼児教育に関わる者に対する研修受講機会を増やす。	

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画(目標値)	その他特記事項
市民サービス	③女性活躍推進法に基づく「ワーク・ライフ・バランス」の理解促進	1-(1)-⑪に掲載			
2-(3) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		・幼児期から男女の差別なく指導するため保育士や教諭のスキルアップのための研修が必要であると思います。			
(4) 科学技術・学術分野における女性の参画拡大の推進追加項目					
市民サービス	① 女子学生や生徒への理工系分野に関する情報提供	未実施		国や北海道の関連情報を含めた情報を収集し情報提供できるよう努める。	
商工労政	② 女性研究者の先進的事例等についての企業への情報提供	先進的事例等に特化した情報提供は未実施。	国・道から先進的事例等に特化した情報提供(配信データ)はなかったが、幅広い分野における女性の参画拡大の推進に関する情報を各関係団体や事業所に発信し、啓発を図る。	国・道からの女性研究者の先進的事例並びに幅広い分野における女性の参画拡大の推進についての情報を各関係団体並びに事業所に発信し、啓発を図る。	
2-(4) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		・女性の参画拡大のため情報提供に努めることが必要であると思います。			
(5) 生涯学習や社会教育における男女平等の推進					
社会教育	① 市民生涯学習推進講座(家庭教育学級)への情報提供	2-(1)-①に掲載	保護者を対象にした子育てに関する情報提供や活動支援の充実を図る。	H28年度と同様に事業を進める。	
市民サービス		1-(1)-⑧に掲載			

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画(目標値)	その他特記事項
社会教育	② 市民生涯学習推進講座（登別ときめき大学）	登別ときめき大学事務局主催の基礎コースと他団体主催の連携コースで、それぞれ講座を行った。 基礎コース講座 9回実施（参加者総数 384名） 連携コース講座 117講座登録	成人世代の参加者数増加に向けて、事業の実施内容、開催日等の検討が必要である。	H28年度と同様に事業を進める。	
社会教育	③ 胆振女性リーダー養成研修事業	胆振管内社会教育共同事業として、地域で活動している女性を、女性教育の振興と男女共同参画社会に形成に資することを目的として運営されている独立行政法人国立女性教育会館（通称：NWE C[ヌエック] 埼玉県嵐山町）が開催するワークショップへの派遣と事前事後研修を行った。 期 間 8月25日（木）～28日（日） 行 程 3泊4日 派遣先 独立行政法人国立女性教育会館 人 員 1名	3泊4日と長期間の研修であり人員確保が難しいため、広報・周知に努める必要がある。	H28年度と同様に事業を進める。 期間 8月24日（木）～27日（日） 行 程 3泊4日 派遣先 独立行政法人国立女性教育会館 人 員 2名（目標値）	
図書館	④ 図書館の女性資料や図書の実践	女性史関係書 377冊 家庭関係（女性関係）書 342冊 女性文化関係書 11冊（H29.6.15現在）	資料について市民への周知が十分でなかった。	引き続き、女性資料の充実に努めるほか、市民への周知に努める。	
社会教育	⑤ 市民生涯学習推進講座（市民マイプラン講座）	市内の団体が自主的に行う学習会に対し、講師を派遣した。 利用団体 10団体	更なる活用に向けて、周知に努める必要がある。	H28年度と同様に事業を進める。	
2-(5) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		・胆振女性リーダー養成研修事業や「ヌエック」の事業を知らない人が多いため、もう少し早い時期から周知したらどうでしょうか。			

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画(目標値)	その他特記事項
(6) 地域づくりの人材育成 追加項目					
市民協働	① 町内会(連合町内会)との学習会	1-(1)-⑫に掲載			
商工労政	② 企業・市民へのセミナー等の周知	平成29年1月23日から4日間、婦人センターにおいて「介護サービス人材確保対策事業(婦人センター講座)」を開催し、地域づくりの人材育成の啓発を図った。 また、道主催の「女性の活躍推進セミナー」について、メール等により各関係団体並びに事業所に発信し、啓発を図った。	介護人材不足解消のため、介護サービスへの理解啓発を図る。	「介護サービス人材確保対策事業(婦人センター講座)」を開催し、地域づくりの人材育成の啓発を図る。 人材育成に関するセミナー開催情報等について、市内公共施設へのチラシの設置やメール等により各関係団体並びに事業所に発信し、啓発を図る。	
市民サービス	③ 広報紙やホームページの活用による周知・普及啓発活動	広報のぼりべつ、男女共同参画情報紙「アンダンテ」において、掲載周知した。	市民が必要としている内容の充実した情報の提供に努める。	広報のぼりべつ、男女共同参画情報紙「アンダンテ」で内容の充実した記事を掲載。	
社会教育	④ 胆振女性リーダー養成研修事業	2-(5)-③に掲載			
2-(6) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		・人材確保対策事業などの取組みはとても大切だが、事業自体が十分に知られていなかったように感じます。出産・子育てにより家庭にいる女性に対してアクセスできる手法を検討していった方が良いと思います。			
基本的施策3 女性への暴力やあらゆる権利侵害の防止					
(1) 女性への暴力や権利侵害への社会的認識の推進					
市民サービス	① 暴力防止に関する意識啓発活動(情報紙やパンフレットの活用)	男女共同参画情報紙「アンダンテ」において、掲載し啓発を行った。 若年層を対象とした「デートDV」の街頭啓発を人権擁護委員との協働により行った。	男女共同参画情報紙「アンダンテ」以外でも啓発する必要がある。	広報のぼりべつ、男女共同参画情報紙「アンダンテ」、市民サービスだよりで啓発を行う。	

担当グループ	主要事業	H 2 8 事業実績 (内容・成果)	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画(目標値)	その他特記事項	
	② 暴力及びストーカー行為等被害者に対する保護・支援の推進(ワンストップ相談の推進、関係機関との連絡調整業務)	相談者が各窓口へ足を運ぶことなく、各窓口から担当者が相談室へ出向き、情報提供を行うワンストップサービスを実施し、関係部署との連携を図った。	職員がDV被害が疑われるかどうかの視点を持つ。	今後も相談者が各窓口へ足を運ぶことなくワンストップサービスに努める。		
税務		<ul style="list-style-type: none"> ・窓口対応において、本人からの申し出または遣り取りにより、他部署での相談や手続きが必要と判断した場合は、早期に担当部署と連携を取り、ワンストップ相談となるよう努めた。 また、電話対応においても、窓口対応に準じた対応となるよう、市担当から電話連絡するなど、相談者の利便が図られるよう努めた。 ・個人情報保護については、当該案件に限らず、他の案件についても確実な保護を行った。 	特になし	これまでの取り組みを、継続して実践していく。		
社会福祉		実績なし				
生活支援		市民サービスグループ(市民相談室)からDV被害者の情報提供があったものは、生活相談業務を行い、関係機関と連携を図りながら、必要に応じて保護を実施した。	DV被害が起きてから、時間を要した。	DV被害者の相談業務は関係機関と連携を図り、早期対応を行う。		
子育て		相談件数 0件 関係機関への通報等 0件	当該業務の外部への周知を今後検討する。			
健康推進		平成28年度は、子育て中の母親が配偶者からDVを受けた相談(3件)以外には、対応なし。		女性への暴力、ストーカー等の相談があった場合は、関係機関と連絡調整をして、必要な支援を行っていく計画である。		

担当グループ	主要事業	H 2 8 事業実績（内容・成果）	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画(目標値)	その他特記事項
高齢・介護		実績なし			
障がい福祉		実績なし			
国民健康保険		<p>市民サービスグループ（市民相談室）より情報提供があったDV被害者について、国保加入の手続きを行った。なお、必要書類等の案内については、市民相談担当を通じ、本人へ伝達する等の配慮を行った。</p> <p>相談件数：1件 登別市国民健康保険への新規加入件数：1件</p>	特になし	引き続き、国保加入者等の異動届時又は保険税等の窓口相談時にDV被害者であることを確認した場合、DV被害者である旨を証明する書類を有する方で、DV被害者の住所が登別市にあると特定できる場合は、被保険者として取り扱う。	
年金・長寿医療		※平成 28 年度 実績なし			
建築住宅		実績なし	—	—	
学校教育		<p>業務関係機関との連絡調整を密にし、情報の共有化を図りながら、DV被害者の保護・支援の体制づくりに努めた。</p>	特になし	H 2 8 年度と同様の内容で事業を進める	
消防警備		<p>暴力及びストーカー行為等被害者に対する保護・支援の推進（相談等なし）</p>		救急出動先等での相談時は迅速な関係機関等連絡調整。	
3 - (1) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント	<p>・DV相談は問題意識をもって対応することが重要であることから引き続き関係機関との連携を図ることを望みます。</p>				

担当グループ	主要事業	H 2 8 事業実績（内容・成果）	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画(目標値)	その他特記事項
(2) セクシャル・ハラスメント防止対策の推進					
市民サービス	① 情報紙の発行	広報のぼりべつ、男女共同参画情報紙「アンダンテ」において、掲載し情報提供を行った。	事例内容を工夫し、情報を提供して行く必要がある。	広報のぼりべつ、男女共同参画情報紙「アンダンテ」で情報提供行う。	
商工労政	② 労働基本調査により、企業・団体へ継続して啓発を促進	隔年実施につき実施なし。	隔年実施につき実施なし。	労働基本調査を実施し、企業・団体へ啓発を図る。	
3 - (2) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き窓口周知と広報啓発に努める必要があると思います。 ・様々な要因や人間関係が背後にあるため思い悩んでしまうことの多いハラスメント問題であると言われているので、匿名でも話することができる「相談電話」の存在をこれまで以上に周知する機会を設けてはどうでしょうか。 			
(3) 配偶者暴力に関する方針 追加項目					
市民サービス	1. 配偶者等からの暴力に係る通報、相談、保護、自立支援等の体制強化と整備推進 ① ワンストップ相談の推進、関係機関との連絡調整業務	「DVに関する相談業務等職員研修会」を11月24日（木）開催し17名参加した。 特定非営利法人ウエメンズネットマサカーネ理事佐々木博美氏を講師に招きDV被害者の支援方法を学び窓口及び相談業務についての対応を学んだ。 DV相談件数は、26件あった。	相談者が窓口へ来庁時には、DVの自覚がない方もいるので、傾聴し相談内容を把握に努める。また、研修は人事異動後の早い時期に開催をするよう努める。	DVに関する相談業務等職員研修会を5月18日（木）開催した。	来年度においても年度初めに開催を進めて行く。
税務		3 - (1) - ②に掲載			
社会福祉		実績なし			
生活支援		市民サービスグループ（市民相談室）が主催するDV事案に関する研修会に参加し、相談時の対応や関係機関との連携調整などについて理解を得た。また、配偶者等から暴力情報があ	市民サービスグループ（市民相談室）や関係機関との連携を行い、情報を密にする必要が	市民サービスグループ（市民相談室）が主催する研修会などに参加し、配偶者等からの暴力に対し適切な対応を速	

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画(目標値)	その他特記事項
		った場合、関係機関と連携を図りながら、必要に応じて保護を実施した。	ある。	やかに関係機関と連携調整を行い、必要に応じて支援する。	
子育て		外部機関にて DV 通告があったものについて、児童相談所と連携し対応を図った。 相談件数 5件 関係機関への通報等 5件	児童相談所が単独で対応しているケースもあるため、すべてのケースについての情報共有の仕方を今後必要に応じて検討する。		
健康推進		子育て中の母親で、配偶者からの DV の相談があり、3件に対応している。市民サービスグループ(市民相談室)、子育てグループ等と連絡調整をして、必要に応じて個別ケース会議を開催して支援している。	配偶者からの DV の場合、支援が長期にわたり深刻な事例もあるため、複数の関係機関で常時連携をして対応する必要がある。	配偶者等からの暴力・暴言などの相談があった場合は、速やかに関係機関と連絡調整をして、必要な支援を行っていく。	
高齢・介護		虐待通報が3件あり、早期に介入し問題解決した。	妻が夫から受けているDVとは反対に、精神疾患に認知症が併発し、被害妄想による夫への精神的虐待も見られるようになってきている。男性の場合、一時的に保護してもらう所がなく苦慮する。	早期対応による早期の問題解決。	
障がい福祉		実績なし			

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画(目標値)	その他特記事項
国民健康保険		市民サービスグループが主催するDV事案に関する研修会に参加し、相談時の対応や関係機関との連絡調整等について理解を深めた。	特になし	引き続き、市民サービスグループが主催する研修会等に参加する等、ワンストップ相談の推進に努める。	
年金・長寿医療		※平成28年度 実績なし			
建築住宅		市営住宅の入居者及び入居希望者等からの相談時において、必要により庁内及び関係機関との連絡調整を実施している。	実績なし	—	
学校教育		相談者が一つの窓口で相談や手続きができるよう、関係機関担当者と協力して相談に応じた。また、その中で、ワンストップ相談の推進に向けて、関係機関同士の理解と連携が図られた。	特になし	28年度と同様の内容で事業を進める	
消防警備		実績なし			
市民サービス	② 民間シェルター運営助成金	DV被害者の一時的保護、相談など再発防止のための様々な支援等を行う民間シェルター（NPO法人ウィメンズネット・マサカーネ）に対しシェルター維持管理うち、家賃管理費及び光熱水費の一部を助成した。		今年度も引き続き助成して行く。	
市民サービス	2. 配偶者からの暴力に係る関係機関との連携強化（児童虐待関連含む）	民間シェルター（NPO法人ウィメンズネット・マサカーネ）と連携するとともに情報紙「アンダンテ」等に掲載、情報提供を行った。国、北海道の啓発等を市民ロビー等に設置した。		関係機関からの情報の提供と市からの発信を引き続き行って行く。	
社会福祉		実績なし			

担当グループ	主要事業	H 2 8 事業実績 (内容・成果)	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画(目標値)	その他特記事項
生活支援		市民サービスグループと連絡調整を行い、配偶者から暴力の相談業務などは、必要に応じて関係機関と連携を図ることができた。	配偶者からの暴力は、関係機関と連携を図ることはできたが、児童虐待の解決に時間を要した。	配偶者からの暴力による相談業務は、関係機関と連携強化の構築を目指す必要がある。	
子育て		市民サービス G にて DV 通告があったもののうち、子どもへの虐待等が考えられるものについて、市民サービス G と連携し対応していったもの。 相談件数 3 件 関係機関への通報等 3 件 児童を監護している申請者が配偶者からの暴力を訴えている場合、当該配偶者の児童手当の受給資格を職権により消滅させ、申請者に対して児童手当を支給することができる。 申請件数 0 件 (相談件数 0 件)	当該ケースについては、子育て G 相談窓口までなかなか繋がらないケースも多いと思われるため、市民サービス G と連携を引き続き密に行うことと併せて、連携段階での当該制度の周知も今後必要と考えられる。		
健康推進		市民サービスグループ、子育てグループ等と連絡調整をして、必要に応じて個別ケース会議を開催して支援している。	配偶者からの DV の場合、支援が長期にわたり深刻な事例もあるため、複数の関係機関により随時、個別ケース会議を開催して、連携強化を図っていく必要がある。	配偶者等からの暴力・暴言などの相談があった場合は、速やかに関係機関と連絡調整をして、必要な支援を行っていく。	

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画(目標値)	その他特記事項
学校教育		児童虐待関係も含めたDV被害者対応で業務関係機関との連絡調整を密にし、情報の共有を図った。	特になし	28年度と同様の内容で事業を進める	
市民サービス	3. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に係る広報啓発活動の推進 ① DV防止法の周知啓発	3-(3)-2に掲載			
	② DVに関する研修会	3-(3)-1-①に掲載			
	③ DV相談に関する市独自のポスター作製	配偶者等からの暴力を容認しないための社会づくりため、暴力よる被害の相談先及び安心して支援を受けることができるように意識啓発や暴力発見等の周知のためポスターを作成し、公共施設、病院、大型店舗、コンビニエンスストアに掲示。		ポスター見て相談して下さった方の支援を行う。	
図書館	④ 関連図書の収集と図書情報の提供	ドメスティック・バイオレンス関係書 9冊 (H29.6.15 現在)	関連資料について、市民への周知が十分でなかった。	引き続き、関連図書の収集と図書情報の提供を行うとともに市民への周知に努める。	
3-(3) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会経験の乏しい若い世代も、DV相談窓口等の情報について理解できるよう、広くアプローチしたほうが良いと思います。 ・ 情報は様々なところから市役所に入ってくると思うので各グループと共有し引き続き、ワンストップ相談の連携対応を望みます。 ・ 若い交際中のカップル間で起きるいわゆる「デートDV」とは、どんなことが当たるのか学校などを通した啓発を行ってみたいはどうか。 			

目標Ⅱ 男女があらゆる分野に参画することができる社会の実現

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画(目標値)	その他特記事項
基本的施策1 政策・方針決定の場への参画の促進					
(1) 各種審議会等への女性の登用の促進					
人事・行政管理	① 審議会等委員の女性の登用実態調査（平成34年度までに40%とする）	平成29年4月1日時点 登用率 25.7% （内訳）42組織 615名中女性158名	前年度比0.2%アップだが、数年のスパンで見ると大きくダウンしている。	登用率 30%	
	② 審議会等委員の公募の推進	未実施	全庁周知の徹底が図られていなかった。	全庁周知を徹底する。	
1-(1) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		<ul style="list-style-type: none"> ・まだまだ、各種審議会などへの女性の登用率は少ないと思いますので全庁の周知を徹底し、目標値に向かってほしいです。 ・審議会の性質や内容にもよるが、委員は男女に偏りすぎないように意識的に配慮していく必要があると思います。 			
(2) 政策・方針決定の場への女性の参画の拡大					
人事・行政管理	① 審議会等委員の公募の推進	未実施	全庁周知の徹底が図られていなかった。	全庁周知を徹底する。	
市民サービス （実施Gは社教教育）	② 胆振女性リーダー養成研修後の男女共同参画事業の推進活動への参加	研修へ参加された方が登別市男女共同参画社会づくり推進会議委員として活動を行った。	研修へ参加された方への情報提供を行う。	各種事業の推進に向けて活動を行って行く。	
1-(2) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		<ul style="list-style-type: none"> ・まだまだ、各種審議会などへの女性の登用率は少ないと思いますので全庁の周知を徹底し、目標値に向かってほしいです。 			

担当グループ	主要事業	H 2 8 事業実績（内容・成果）	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画(目標値)	その他特記事項
基本的施策2 地域活動における男女共同参画の促進					
(1) 地域社会における男女平等の意識づくりの促進					
市民サービス	① 情報紙やパンフレットの活用	広報のぼりべつ、男女共同参画情報紙「アンダンテ」に掲載し情報の周知を行った。		今年度も広報紙等を活用して周知を行う。	
市民協働	② 地区連合町内会等への情報提供、参加呼びかけの強化	情報提供等行った実績はありません。			地区連合町内会への情報提供は、市連町役員会で行うことができる。
市民協働	③ 町内会（連合町内会）との学習会	1-1-(1)-⑫に掲載			
2-(1) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		<ul style="list-style-type: none"> ・町内会だけでなく、各イベントやマチづくり活動に携わる女性の情報収集を行うと、男女共同参画に関心の高い、新たな人材を見つけられるのではないのでしょうか。 ・人口減少が進む登別市において、老若男女を問わずに、すべての人が活躍しなければ、地域は成立しないという住民の自覚を高める啓発が必要であると思います。 			
(2) 地域活動に参画できるための環境整備の促進					
商工労政	① 商工会議所との連携による企業等への情報提供	商工会議所への情報提供及びチラシの配布・設置により会員企業への周知を実施	市が実施する企業への周知メール及び商工会議所への情報提供による手法を実施しているが、全ての企業に迅速に行き渡る情報提供手段がない。	引き続き商工会議所への情報提供及びチラシの配布・設置により会員企業への周知を実施するとともに、市が実施する企業周知メールの受信者数の累増を図る。	

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画(目標値)	その他特記事項
子育て	② 仕事と育児両立支援事業（ファミリーサポートセンター）	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼会員 818人 ・提供会員 172人 ・両方会員 154人 ・活動状況 2,533人（預かり延べ人数） ・活動総時間 3,636時間 	利用者は年々増加しており、更なる利用促進のため、周知に努めることが必要である。		
社会教育	③ 市民マイプラン講座による支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の団体が自主的に行う学習会に対し、講師を派遣した。 利用団体 10団体 	更なる活用に向けて、周知に努める必要がある。	H28年度と同様に事業を進める。	
障がい福祉	④ 障がい福祉サービス等に関する情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・「福祉のしおり」の配布 ・「障がいのある方の就労相談窓口」の実施周知 ・高額障害福祉サービス等の給付に関する制度周知 	就労相談窓口の利用件数が少ないことから、利用促進を図るため、更なる周知に努めることが必要である。		
2-(2) 男女共同参画社会づくり推進会議コメント		<ul style="list-style-type: none"> ・更なる継続を望みます。 ・様々な立場や生活状況の人たちが活動できるようにするために、参加要件・時間などを緩やかにした組織づくりが必要であると思います。 			
(3) 防災分野における男女平等の推進 追加項目					
総務	① 自主防災組織における女性の参画促進	自主防災組織等が開催する研修会等において、災害時に必要な備蓄品や避難所での暮らし等の講義を5回開催し延べ226人が参加し、女性視点の防災の取り組みの重要性を伝えた。また、のぼりべつ女性防災ネットワーク会議に出席した。	特になし	今年度も昨年度と同様に、研修会等の場で自主防災組織等での男女共同参画の必要性の啓発を行う。	

担当グループ	主要事業	H 2 8 事業実績（内容・成果）	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画(目標値)	その他特記事項
総務	③ 男女のニーズの違いに配慮した防災知識の普及啓発	コミュニティラジオ（FM びゅー8月）を活用して、女性の視点を防災に生かすことの重要性について放送した。 広報のぼりべつ8月号において、女性の視点を防災に生かすことの重要性について掲載した。	特になし	今年度も昨年度と同様に、コミュニティラジオや市広報を用いて、防災の観点から男女のニーズに配慮することの重要性を市民に周知する。	
市民サービス	④ 女性の視点を活かした防災活動の促進	のぼりべつ女性防災ネットワーク会議において、熊本地震の被災地の現状と有事の際に「自助としてできること」また、「いぶり女性有志の会」との意見交換などを3回開催した。	「自助としてできること」を取りまとめましたが、市総務グループで「のぼりべつ防災タウンページ」を発行しており予算上、成果物の作成に至っていない。	「女性の視点」、「男女共同参画の視点」を活かし地域全体の防災力を高めて活動して行く。	
消防総務	⑤ 女性消防団員の入団促進	女性消防団員の入団促進 入団数 1名	仕事等の理由により退団者が3名いた。	定数20名に向けて更なる入団促進	
2- (3) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		・更なる継続を望みます。			
基本的施策3 家庭における男女共同参画の促進					
(1) 家庭生活への男性の参画促進					
市民サービス	① 情報紙「アンダンテ」や広報紙による啓発	登別市男女共同参画社会づくり推進会議の事業等についての報告や、社会問題等を取り上げ、子どもや女性に関する主な施策等について掲載し周知した。	男女共同参画の主旨を理解してもらえよう掲載内容を厳選する必要がある。	今年度も情報等について発信して行く。	

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画(目標値)	その他特記事項
社会教育	② 市民生涯学習推進講座（家庭教育学級）	1-2-(1)-①に掲載	働いている保護者や父親でも参加しやすい学習会テーマや時間帯、日程を含めた開催の検討が必要である。	H28年度と同様に事業を進める。	
健康推進	③ 男性のための研修会開催	男性のための料理教室を年1回実施し、14名が参加した。	参加者が既存の男性料理サークルのメンバーに固定化され、新規の参加者がいない状況が続いている。対象者の見直しを行い、平成29年度から、計画を変更した。	子育て中の若い父親を対象に年1回男性料理教室を実施する。 家族で参加し、父親が作った料理を食べる昼食会も実施する。 昨年までの対象者に対しては男性料理サークルへの支援という形で継続実施する予定。	
市民サービス	④ 企業関係や団体などへ女性活躍推進法に基づく情報提供	商工労政グループ等及びプラタナス、のぼりべつ男女平等参画懇話会へメール及び郵送等で情報提供を行った。		引き続き情報提供を行う。	
商工労政		道主催の「女性の活躍推進セミナー」・女性活躍推進法「見える化」サイトについて、メール等により各関係団体並びに事業所に発信し、啓発を図った。	配信事業所の累増による啓発の推進	最新情報をメール等により各関係団体並びに事業所に発信し、啓発を図る。	
3-(1) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		・ワーク・ライフ・バランスにかかる男性の研修会の内容の充実を望みます。			

担当グループ	主要事業	H 2 8 事業実績（内容・成果）	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画(目標値)	その他特記事項
(2) 男性を対象とした学習機会の充実 追加項目					
市民サービス	① 学習会の開催（男性の料理教室）	1-1-(1)-⑧に掲載			
市民サービス	② 情報紙、パンフレット、リーフレット等を活用した広報・啓発活動	1-2-(6)-③に掲載			
図書館	③ 関連図書の収集と図書情報の提供	男女共同参画のための専門誌「月刊 We learn」(日本女性学習財団発行)の継続購読を行った。	関連資料の市民への周知が十分ではなかった。	引き続き、関連資料の収集・図書情報の提供と市民への周知に努める。	
3-(2) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		・ワーク・ライフ・バランスにかかる男性の研修会の内容の充実を望みます。			
基本的施策4 国際交流の推進					
(1) 先進的な国との交流促進					
企画調整	① デンマーク友好都市中学生派遣交流事業	登別市の中学生を友好都市のデンマーク王国ファボー・ミッドフュン市に派遣し、青少年との交流や日本とは異なる生活・文化の体験を通じ、生徒の豊かな人間性と広い視野を育むとともに、ファボー・ミッドフュン市との交流を推進し、中学生8名、引率2名を派遣した。また、帰国後市主催による体験報告会実施した。	市立中学校からの応募者数が、2年続けて定員数を下回っているため、より周知を徹底する必要がある。	【派遣人数】 中学生9名、引率者2名	
企画調整	②国際交流推進事業	なし			
4-(1) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		・更なる継続を望みます。			

担当グループ	主要事業	H 2 8 事業実績（内容・成果）	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画(目標値)	その他特記事項
(2) 市内や近郊に居住する外国人との交流の促進					
企画調整	① 国際交流推進事業	市民の国際理解を深めるため、講師として留学生や外国語指導助手などを招き、講座を5回開催し延べ130名参加した。	国際理解講座開催の周知徹底 講師の確保	国際理解講座の開催 (年5回) 目標参加人数：100人	
4-(2) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		<ul style="list-style-type: none"> ・更なる継続を望みます。 ・小中学校に派遣されているALT（英語指導助手）を活用して、海外での男女共同参画の現状を話してもらうミニ講座などの開催もよいと思います。 			

目標Ⅲ 雇用等の分野における男女平等の実現

担当グループ	主要事業	H 2 8 事業実績（内容・成果）	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画（目標値）	その他特記事項
基本的施策1 男女が安心して働き続けることのできる社会の実現					
(1) 男女平等の観点に立った職場環境の整備の促進					
商工労政	① 女性活躍推進法の周知、啓発	道主催の「女性の活躍推進セミナー」・女性活躍推進法「見える化」サイトについて、メール等により各関係団体並びに事業所に発信し、啓発を図った。	配信事業所の累増による啓発の推進	最新情報をメール等により各関係団体及び事業所へ発信し、啓発を図る。	
商工労政	② 企業等への情報提供（労働関係法の周知）	国や道、関係機関等が発行したパンフレットを公共施設に設置するとともに、関連通知について、広報紙やメール等により各関係団体及び事業所へ情報提供した。	配信事業所の累増による啓発の推進	国や道、関係機関等が発行したパンフレットを公共施設に設置するとともに、関連通知について、広報紙やメール等により各関係団体及び事業所へ情報提供し、啓発を図る。	
商工労政	③ 労働相談事業の実施	労働者の生活向上や職場環境の改善、労働問題解決のため、専門的な立場から連合北海道登別地区連合会が行う労働相談を支援した。	労働相談事業の周知拡大	労働者の生活向上や職場環境の改善、労働問題解決のため、専門的な立場から連合北海道登別	

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画（目標値）	その他特記事項
		相談件数：9件 主な相談内容：賃金関係、雇用契約関係、有給休暇等		地区連合会が行う労働相談を支援するとともに、広報紙等を通じて労働相談の周知を図る。	
商工労政	④ ハローワークとの連携による求人情報の提供	各支所や市民会館、登別市地域職業相談室「ジョブガイドのぼりべつ」に求人一覧表を設置したほか、市役所本庁舎ロビー及びハローワーク室蘭がジョブガイドのぼりべつに設置した自己検索性パソコンによる求人情報提供等を行った。	登別市地域職業相談室「ジョブガイドのぼりべつ」の利用者の累増による活用の推進	各支所や市民会館、登別市地域職業相談室「ジョブガイドのぼりべつ」に求人一覧表を設置したほか、市役所本庁舎ロビー及びハローワーク室蘭がジョブガイドのぼりべつに設置した自己検索性パソコンによる求人情報提供等の促進を図る。	
商工労政	⑤ 労働基本調査（隔年実施）及び活用	1-3-(2)-②に掲載			
商工労政	⑥ ワーク・ライフ・バランスの啓発	①平成29年1月23日から4日間「介護サービス人材確保対策事業」を実施し、啓発を図るとともに仕事と子育ての両立を目指す女性を支援した。 ②平成29年2月23日に「ワーク・ライフ・バランス実践講座(マザーズハローワーク就職支援事業)」を実施し、女性の就職に向けた支援や各種子育てに対する支援制度を紹介した。	介護人材不足解消のため、介護サービスへの理解啓発を図る。	①「介護サービス人材確保対策事業」を実施し、啓発を図るとともに仕事と子育ての両立を目指す女性を支援する。 ②「ワーク・ライフ・バランス実践講座(マザーズハローワーク就職支援事業・働き方改革関連事業)」女性の就職に向けた支援や各種子育てに対する支援制度を紹介し、啓発を図るとともに仕事と子育ての両立を目指す女性を支援する。	

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画（目標値）	その他特記事項
1-（1） 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		<p>・ワーク・ライフ・バランスに関心の高い事業所情報があると求職活動がしやすいと思う。また、北海道などの表彰制度を活用してほしい。</p> <p>・女性活躍推進法の趣旨を事業所等に周知し、具体的な対策に取り組む事業所があれば、広報等で大いに取り上げ、市内全体の機運を高めて行く必要があると思います。</p>			
（2）非正規雇用者の権利確保のための環境整備の促進					
商工労政	① 労働相談事業助成による啓発及び労働相談	（1）-③に掲載			
商工労政	② 登別市地域職業相談室「ジョブガイドのぼりべつ」の設置	登別中央ショッピングセンター・アーニス内に設置し、就労等に関する相談や求人情報の提供を行った。	登別市地域職業相談室「ジョブガイドのぼりべつ」の利用者の累増による活用の推進	登別中央ショッピングセンター・アーニス内に設置し、就労等に関する相談や求人情報の提供を行い、活用促進を図る。	
1-（2） 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		<p>・求人情報の啓発の継続。</p>			
（3）農林水産業や商工業など自営業における男女共同参画の促進					
農林水産	① 農業経営者へ家族経営協定の情報提供	各種情報誌やパンフレットなどを農業経営者に提供した。	情報周知の機会が限られていた。	各種情報誌やパンフレットなどを農業経営者に提供するほか、本庁舎1階ロビー等に掲示し、周知を強化する。	
農林水産	② 農・漁業関係の女性施策の新たな取り組みの情報提供	各種情報誌やパンフレットなどを農業者や漁業者に提供した。	情報周知の機会が限られていた。	各種情報誌やパンフレットなどを農業者や漁業者に提供するほか、本庁舎1階ロビー等に掲示し、周知を強化する。	
商工労政	③ 女性の起業促進	商工会議所や地域金融機関と連携し、起業応援セミナーを2回実施（市主催）。 ・2月18日（土） ・2月22日（水）	起業支援の周知を通じた、起業を考える方の掘り起こし。	商工会議所と連携した起業支援を実施する。	

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画（目標値）	その他特記事項
商工労政	④ 経営者の意識改革促進に向けた情報提供	企業へメール配信のほか、アーニスにチラシを設置し、情報提供を行った。	配信事業所の累増による啓発の推進。	メール配信先企業の累増とともに、アーニスや市内公共施設でのチラシの設置などにより情報提供を図る。	
1-(3) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		<ul style="list-style-type: none"> ・ 起業応援セミナーの起業の内容と参加人数及び起業を考えている女性の人数を掲載して欲しいです。 ・ 更なる継続を望みます。 			
基本的施策2 男女の仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）					
(1) 就業に関する能力開発のための環境整備の促進					
図書館	① 女性の就労促進に向けた図書の充実	「女性の職業のすべて 2017年版」等、就労や資格に関連する資料を購入した。	アーニス分館にコーナーがあることの周知が十分でなかった。	引き続き、女性の就労促進に向けた図書館の充実と、市民への周知に努める。	
商工労政	② 職業訓練校実施事業の紹介	職業訓練校と連携のもと、実施事業を紹介し、訓練生の募集等を広報紙に掲載した。	訓練生の累増	職業訓練校と連携のもと、実施事業を紹介するとともに、訓練生の募集等を広報紙に掲載し、訓練生の累増を図る。	
子育て	③ ひとり親家庭等自立支援給付金事業（自立支援教育訓練給付金・高等職業訓練促進給付金）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立支援教育訓練給付金 母子家庭の母及び父子家庭の父が自主的に行う職業能力開発を促進するため、指定講座を受講し職業能力開発を行う者に対して、教育訓練終了後に自立支援教育給付金を支給する。 給付件数0件（相談件数2件） ・ 高等職業訓練促進給付金 母子家庭の母及び父子家庭の父の訓練受講中の生活安定を図るため、資格取得後就労が見込まれる1年以上の養成機関で修業する場合に、一定 	利用者がいなかったため、より周知徹底が必要である。	H28年度と同様に事業を進める。	

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画（目標値）	その他特記事項
		の期間高等職業訓練促進給付金を支給する。 給付件数0件（相談件数4件）			
子育て	⑤ 母子・父子自立支援員兼家庭相談員によるひとり親家庭への支援	・母子・父子自立支援員が胆振総合振興局やハローワークと連携し、就労に結びつく資格取得等、就労の可能性を高めるための各種支援を行い、ひとり親の自立を促進した。	他の関係機関との連携を深めるとともに、より多くのひとり親家庭への有益な情報提供等を行うため、引き続き周知に努める必要がある。	H28年度と同様に事業を進める。	
図書館	⑤ 女性労働問題図書の充足と改善	(1) -①に掲載			
2-(1) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		・ワーク・ライフ・バランスという言葉自体があまり知られていないようで（意味も含め）今後も周知をお願いします。			
(2) 女性の再就業に関する情報の提供					
商工労政	① 婦人センター事業	①平成29年1月23日から4日間「介護サービス人材確保対策事業」を実施し、啓発を図るとともに仕事と子育ての両立を目指す女性を支援した。 ②平成29年2月23日に「ワーク・ライフ・バランス実践講座(マザーズハローワーク就職支援事業)」、女性の就職に向けた支援や各種子育てに対する支援制度を紹介した。	介護人材不足解消のため、介護サービスへの理解啓発を図る。	①「介護サービス人材確保対策事業」を実施し、啓発を図るとともに仕事と子育ての両立を目指す女性を支援する。 ②「ワーク・ライフ・バランス実践講座(マザーズハローワーク就職支援事業・働き方改革関連事業)」、女性の就職に向けた支援や各種子育てに対する支援制度を紹介し、啓発を図るとともに仕事と子育ての両立を目指す女性を	

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画（目標値）	その他特記事項
				支援する。	
商工労政	② ハローワークとの連携による求人情報提供	各支所や市民会館、ジョブガイドのぼりべつに求人一覧表を設置したほか、市役所本庁舎ロビー及びハローワーク室蘭がジョブガイドのぼりべつに設置している自己検索用パソコンにより、求人情報を提供した。	求人情報提供等による活用の促進	各支所や市民会館、登別市地域職業相談室「ジョブガイドのぼりべつ」に求人一覧表を設置したほか、市役所本庁舎ロビー及びハローワーク室蘭がジョブガイドのぼりべつに設置した自己検索用パソコンによる求人情報提供等により、活用促進を図る。	
商工労政	④ 関係機関との連携による、結婚、出産、育児、介護等での離職者等に対する再就業に向けた学習支援や相談	(2) -①に掲載			
2-(2) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		・参加者が集まるように周知の工夫を図る必要があると思います。			
(3) 起業家を目指す女性への支援					
商工労政	① 産学官ネットワークの活用	1-(3) -③に掲載			

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画（目標値）	その他特記事項
商工労政	② 職業訓練校実施事業 の紹介<再掲>	(1) -②に掲載			
2-(3) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		<ul style="list-style-type: none"> ・更なる周知等の工夫を図る必要があると思います。 ・事業の継続を望みます。 			

目標Ⅳ 健康的な生活を生涯にわたって送られる社会の実現

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画（目標値）	その他特記事項
基本的施策1 全ての人々が健康で安心して暮らせる環境の整備					
(1) 女性の健康づくりのための意識の啓発の促進					
年金・長寿医療	① 乳幼児医療 費助成事業	<p>小学校就学前の乳幼児の、通院・入院・指定訪問看護の医療費に係る自己負担額の全部又は一部の金額を助成。</p> <p>小学生の入院・指定訪問看護の医療費に係る自己負担額の全部又は一部の金額を助成。</p> <p>平成29年3月末現在の受給者数 3,828名 (就学前乳幼児：2,012名 小学生：1,816名)</p>	特になし	H28年度と同様に事業を進める。	
年金・長寿医療	② ひとり親家 庭等医療費助 成事業	<p>ひとり親家庭等の母又は父の入院・指定訪問看護の医療費に係る自己負担額の全部又は一部の金額を助成。</p> <p>ひとり親家庭等の児童の通院・入院・指定訪問看護の医療費に係る自己負担額の全部又は一部の金額を助成。</p> <p>平成29年3月末現在の受給者数 1,486名 (母又は父：598名 児童：888名)</p>	特になし	H28年度と同様に事業を進める。	

担当グループ	主要事業	H 2 8 事業実績（内容・成果）	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画（目標値）	その他特記事項
健康推進	③ 若い世代の健康診査	平成 28 年度より、しんた 21 で実施する集団検診方式に加え、JCHO 登別病院での個別検診方式も導入した。 集団検診は定員 120 人中受診者数 112 人、個別検診は定員 40 人中受診者数 17 人の実績であった。	個別検診方式を導入したことで、全体の受診数は平成 27 年度の 108 人から 129 人に増加している。 受診者のうち有所見者が半数以上おり、若い世代からの生活習慣病予防が重要と考えられるため、受診数の増加に向けて、周知に努める。	集団検診：定員 120 人 個別検診：定員 50 人	
健康推進	④ 健康増進事業	子宮頸がん検診 ～受診数 754 人 乳がん検診～受診数 910 人	若い世代のがん発見もあり、定期的ながん検診の受診勧奨に努める。	子宮頸がん検診は 20～39 歳、乳がん検診は 40～60 歳（各々無料クーポン券対象者を除く）に個別勧奨通知を送付し、受診数増加を目指す。	
1 - (1) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		<ul style="list-style-type: none"> ・ 検診の周知に努められるよう望みます。その結果、検診の人数も増えていくように思います。 ・ 事業の継続を望みます。 			
(2) リプロダクティブ・ヘルス/ライツの考え方の普及促進					
健康推進	① すこやかマタニティ教室	実施回数 ・1 日コース：年 3 回 ・2 日コース：年 4 回 参加者 妊婦：実 61 人 延 90 人 夫 ：実 49 人	夫の妊婦疑似体験では妻の妊娠後期の体の負担感を体感でき、好評であり、今後も継続していく。	・1 日コース：年 3 回 ・2 日コース：年 4 回	

担当グループ	主要事業	H 2 8 事業実績（内容・成果）	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画（目標値）	その他特記事項
健康推進	② 思春期教室	市立中学校（5中学校）の2年生を対象に実施。 実：335名	実施後のアンケートでは、 「赤ちゃんの抱き方・妊娠生活の大変さが分かった」 「妊婦さんをサポートしたい」などの感想が多く寄せられ、今後も継続していく。	市立中学校（5中学校）の2年生を対象に実施していく。	
1-(2) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		<p>・英語のカタカナ読みではなくわかり易い日本語で表記すべき、伝わるものも伝わらないと思います。</p> <p>・すこやかマタニティ教室は、夫の参加も多いようで良いことだと思います。今後も男性の参加が定着して、そこから多方面への男性参画の足がかりに繋がると良いと思います。</p>			
(3) 全ての人が安心して暮らせる体制づくりの促進					
高齢・介護	① 福祉サービスや介護体制の整備充実	<p>市内の事業所に対し介護保険制度の改正等に係る情報等を提供し質の確保を図った。</p> <p>のぼりべつケアマネ連絡会に情報提供等で必要時に参加し、介護の現場の情報交換等を行うように努めた。</p> <p>地域包括支援センター主任介護専門員による各ケアマネへの指導助言（困難事例へ対応・ケアプラン作成等）を行い、介護サービス体制の充実に努めた。</p> <p>緊急通報システム設置事業を行い、高齢者の日常生活の不安解消及び人命の安全を確保した。</p> <p>設置台数：317台</p>		<p>市内の事業所に対し介護保険制度の改正等に係る情報等を提供し質の確保を図る。</p> <p>のぼりべつケアマネ連絡会に情報提供等で必要時に参加し、介護の現場の情報交換等を行うように努める。</p> <p>地域包括支援センター主任介護専門員による各ケアマネへの指導助言（困難事例へ対応・ケアプラン作成等）を行い、介護サービス体制の充実に努める。</p> <p>緊急通報システム設置事業を行い、高齢者の日常生活の不</p>	

担当グループ	主要事業	H 2 8 事業実績（内容・成果）	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画（目標値）	その他特記事項
				<p>安解消及び人命の安全を確保する。</p> <p>目標設置台数：344台</p>	
高齢・介護	② 介護相談窓口の充実	<p>市役所介護保険担当窓口のほか、高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点である、市内3箇所の地域包括支援センターの周知を民生委員や町内会等に行いその充実に努めた。</p> <p>市内3箇所の地域包括支援センターに社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員を配置し、高齢者の健康や生活に関すること、家族の方の介護に関することなど様々な相談に応じ、高齢者に関する総合的な支援を行った。</p>		<p>市役所介護保険担当窓口のほか、高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点である、市内3箇所の地域包括支援センターの周知を民生委員や町内会等に行いその充実に努める。</p> <p>市内3箇所の地域包括支援センターに社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員を配置し、高齢者の健康や生活に関すること、家族の方の介護に関することなど様々な相談に応じ、高齢者に関する総合的な支援を行う。</p>	

担当グループ	主要事業	H 2 8 事業実績（内容・成果）	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画（目標値）	その他特記事項
高齢・介護	③ 介護及び介護予防に係る地域支援事業の推進	<p>要支援・要介護になるおそれのある高齢者を対象に次の介護予防事業（かるやか体操教室など）を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かるやか教室（通所型介護予防教室） ・かるやか体操学習会 ・健康教室・健康相談 ・訪問指導 <p>かるやかポスターの配布及び広報のぼりべつにより「かるやか体操」の市民周知を図った。</p>	<p>通所型介護予防教室を実施し参加者からは好評をいただいているが、参加者数が少ない。</p>	<p>概ね65歳以上の高齢者に対し次の介護予防事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防把握事業 閉じこもり等の何らかの支援を必要とする高齢者を発見し、必要な支援につなげる。 ・地域介護予防活動支援事業 地域の介護予防活動を支援する。 ・介護予防普及啓発事業 体操DVD・マニュアルの配布、広報のぼりべつで介護予防の市民周知、健康教室、健康相談など。 	
高齢・介護	④ アンケート調査結果の情報提供（介護3ヵ年計画策定の前年に実施）			<p>○第7期介護保険事業計画策定に向けて、介護予防日常生活圏域ニーズ調査、施設整備介護サービス意向調査、在宅介護実態調査を実施する。</p>	
1 - (3) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		<p>・家庭介護も施設介護も女性の負担が、まだまだ大きいと思います。介護職が意見交換をしながら、負担の軽減や解決策に向けた取組が出来ないか検討していくと良いと思います。</p>			

担当グループ	主要事業	H 2 8 事業実績（内容・成果）	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画（目標値）	その他特記事項
（４）総合的な環境保全対策の推進					
環境対策	① 環境講演会の開催	<p>NPO法人キウシト湿原・登別理事長の堀本 宏 氏を講師に迎え、「キウシト湿原保護から考える市内の環境保全について」をテーマに、キウシト湿原の特徴・特殊性や、湿原に生息する生き物などについて、スライドを交えながらお話をいただき、環境保全についての理解を深めることを目的として実施した。</p> <p>〈開催日時・場所〉 平成 29 年 1 月 26 日（木）午後 6 時～クリンクルセンター市民ギャラリー 約 100 名参加</p>	<p>標記講演会へより多くの市民等が参加いただくよう、より広報周知活動が必要と考える。</p>	<p>地球温暖化の防止や環境保全をテーマとして開催予定。</p>	
環境対策	② 環境保全市民会議での啓発活動	<p>(1)登別市環境保全市民会議の開催 平成 28 年度については、次の議題で 3 回開催した。</p> <p>【第 1 回】「登別市温暖化対策実行計画（区域施策編）について」「し尿処理手数料及び浄化槽汚泥処分手数料の改定について」平成 28 年 9 月 6 日(火)18 時～クリンクルセンター 2 階研修室</p> <p>【第 2 回】「環境ポスターの審査について」「子ども環境家計簿（夏休みバージョン）の実施状況について」「環境講演会について」平成 28 年 10 月 12 日(水) 18 時～市民会館 2 階中ホール</p> <p>【第 3 回】「廃棄物処理施設（クリンクルセンター）の今後について」「子ども環境家計簿（冬休みバージョン）の実施状況について」「登別市温暖化対策実行計画（区域施策編）について」平成 29 年 2 月 24 日(金) 18 時～クリンクルセンター 2 階研修室</p> <p>(2)小学生による環境ポスターの募集及び環境ポスタ</p>	<p>(1) 特になし</p> <p>(2) より多くの児童が応募</p>	<p>(1)前年度並みの開催回数を予定</p> <p>(2)前年度と同様の事業実施</p>	

担当グループ	主要事業	H 2 8 事業実績 (内容・成果)	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画 (目標値)	その他特記事項
		<p>一展の開催</p> <p>市内の小学生を対象として、夏休み期間中、環境に関するポスターを募集。応募総数 261 点の中から優れた作品 22 点を選考し表彰式を実施した。</p> <p>【表彰式】平成 28 年 11 月 10 日(木) 16 時～アーニス 1 階中央ホール</p> <p>【受賞作品展示】平成 28 年 11 月 10 日(木)～13 日(日) アーニス 1 階中央ホール</p>	<p>するよう、より広報周知活動が必要と考える。</p>	<p>を予定</p>	
環境対策	③ 二酸化炭素削減に関する啓発	<p>(1)こども環境家計簿「夏・冬休みバージョン」の実施 地球温暖化の防止及び環境保全意識の向上を図るため、市内小学校の児童を対象として配布。取組率は夏休み 77.5%、冬休み 78.9%であった。</p> <p>(2)登別消費生活展での環境家計簿の啓発活動 登別消費者協会主催事業である「登別消費生活展」にブースを出店。環境家計簿やごみの減量・リサイクルなどの啓発を実施した。</p> <p>平成 28 年 10 月 14 日(金)12 時～16 時 15 日(土)10 時～15 時(2 日間)市民会館 2 階中ホール</p>	<p>(1)より多くの児童とその親が取り組むよう、より広報周知活動が必要と考える。</p> <p>(2)より多くの来場者が、地球温暖化の防止と環境保全意識の向上に取り組んでもらうよう、より広報周知活動が必要と考える。</p>	<p>(1)(2)とも、前年度と同様の事業実施を予定</p>	
環境対策	④ 資源回収団体奨励金支給事業	<p>町内会や子供会などで日常生活の中において排出される新聞紙や金属類・ビン類等を再生資源として回収。併せてごみの減量や地域の環境保全に努めた。</p> <p>〈申請団体数〉85 団体 〈うち婦人団体数〉3 団体</p>	<p>より市民が、資源のリサイクルやその有効活用などに関心を持ってもらうよう、より広報周知活動が必要と考える。</p>	<p>前年度と同様の事業実施を予定</p>	
1 - (4) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		<p>・男女共同参画社会づくりとの関係性に弱いように感じるので、実施計画からの削除を検討してもいいのではないかと思います。</p>			

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画（目標値）	その他特記事項
基本的施策2 子育て支援体制の充実					
(1) 保育サービスの環境整備の促進					
子育て	① 休日保育事業	<p>保育所の閉所日である日曜及び祝日に、市内1カ所の拠点保育所で平日と同内容の保育を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施場所：富士保育所 ・延べ利用人数：55人 ・延べ利用日数：119日 	<p>市内1カ所の拠点保育所で実施しているため、利用児童の性格がわからないことや、伝達がうまくいかないことがある。</p>	H28年度と同様に事業を進める。	
子育て	② 普通保育所運営管理事業	<p>就労等の理由により、保育を必要とする児童を預かり、保育を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施場所：市内5保育所 富士保育所：104人 鷺別保育所：100人 栄町保育所：87人 幌別東保育所：96人 登別保育所：48人 計 435人 ※H29.3.1現在 	<p>短時間勤務職員の勤務形態や代替保育士の勤務時間制限、及び職員の代休取得のため、時間帯や曜日によって保育士確保に苦慮することがある。</p>	H28年度と同様に事業を進める。	
子育て	② 障害児保育事業	<p>専任の保育士を配置し、障がいのある子どもや発達に不安のある子どもの受け入れ、保育を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施場所：市内5保育所 富士保育所：10人 鷺別保育所：5人 栄町保育所：7人 幌別東保育所：7人 登別保育所：0人 計 29人 	<p>新入所児については、入所後に障がい疑われる児童もおり、加配対応が困難な場合がある。</p> <p>加配対象児童に対し、担任変更をせざるを得ない場合、保護者に対して、伝えにくい場合がある。</p>	H28年度と同様に事業を進める。	

担当グループ	主要事業	H 2 8 事業実績 (内容・成果)	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画 (目標値)	その他特記事項
		※H 2 9. 3. 1 現在			
子育て	③ 保育所広域 入所事業	勤務地などの理由から、保護者が他市町村の保育所の利用を希望する際、他市町村の保育所に保育を委託（同様に受託事業もあり） ・実施場所：ほくと保育園 入所人数：1人 ・実施場所：みどり保育園 入所人数：2人 ・実施場所：常盤保育園 入所人数：1人 ※いずれも室蘭市	利用希望者は、すべて市内保育所で受け入れができるよう、保育士確保などの受入態勢の整備について、引き続き実施する必要がある。	H 2 8 年度と同様に事業を進める。	
子育て	④ 保育所特別 保育事業実施 事業（交流事 業・あそびの 広場・延長保 育・乳児保育）	交流事業 入所児童を対象に地域住民との交流を実施 老人施設訪問等世代間交流 ・実施場所：市内5保育所 異年齢交流 ・実施場所：鷺別保育所及び幌別東保育所 あそびの広場 中央と登別の子育て支援センターにおいて、地域の乳幼児とその保護者等を対象に、子どもとの関わりや遊び方を指導し、育児不安の解消を図るとともに、親子のふれあいや親同士の交流を実施 ・実施場所：中央子育て支援センター及び登別子育て支援センター	交流先の事情により交流事業が不可能となった場合、新たな交流先を探すのが困難な場合がある。 自由参加可能なメニューの場合は参加者が多く、実施に支障をきたす場合も考えられるため、室内で実施する講座等については、申込制の導入検討が必要であ	H 2 8 年度と同様に事業を進める。 H 2 8 年度と同様に事業を進める。	

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画（目標値）	その他特記事項
		<p>延べ利用人数：217組 (親：217人 子：217人)</p> <p>延長保育 保育時間の延長ニーズに対応するため、全保育所で開所時間を1時間（午後6時15分から午後7時15分）延長して保育を実施 実施場所：市内5保育所 延べ利用人数：709人 延べ利用日数：3,231日</p> <p>乳児保育 生後6ヶ月以上からの乳児の保育を実施 ・実施場所：市内5保育所 入所人数：34人 ※H29.3.1現在</p>	<p>る。→H29実施</p> <p>2歳児コースは、他施設で実施しているキッズコースと対象者が重複するため、参加人数確保が困難な場合がある。</p> <p>3歳児コースは、利用児童によって成長の差があるため、活動内容の設定調整が困難な場合がある。</p> <p>加配対象児童や0・1歳児の利用が多い場合、対応が困難な場合がある。</p> <p>乳児の場合、月齢によって対応が異なることが多く、配置基準を満たしていても、対応が困難な場合がある。</p>	<p>H28年度と同様に事業を進める。</p> <p>H28年度と同様に事業を進める。</p>	
2-（1）	男女共同参画社会づくり	<p>・多くの事業をして下さり、保育士の確保等大変ではあると思いますが、今後も保育サービスの充実を期待しています。</p> <p>・学童保育のサービス環境を更に充実させていく必要があると思います。</p>			

担当グループ	主要事業	H 2 8 事業実績（内容・成果）	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画（目標値）	その他特記事項
推進会議コメント					
(2) 仕事と子育ての両立を促進するための環境の整備					
子育て	① 仕事と育児 両立支援事業 (ファミリーサ ポートセンタ ー)	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼会員 818 人 ・提供会員 172 人 ・両方会員 154 人 ・活動状況 2, 533人 (預かり延べ人数) ・活動総時間 3, 636時間 	利用者は年々増加しており、更なる利用促進のため、周知に努める必要がある。		
子育て	② 児童館・児童センター運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の健全化を図る。 登別児童館・富浦児童館・幌別児童館・常盤児童館・富士児童館・富浜児童館・青葉児童館・鷺別児童館・若草つどいセンター(児童室)・美園児童センター・登別温泉児童室	児童館を中心とした児童厚生施設等の総合的な運営についての方針に従い、子どもたちの放課後の安全な居場所を確保する観点から、学校及び学校敷地内の施設の活用を優先し、各地域の状況に合わせ、既存施設の有効活用も含め検討を進める。		
子育て	③ こどもショートステイ事業	実施場所：(社福)室蘭言泉学園(児童養護施設わかすぎ学園) 延べ利用人数：2人 延べ利用日数：6日	必要な子どもが利用できるよう、引き続き、周知に努める必要がある。	1人日/年 (1年あたりの利用回数) ※登別市子ども・子育て支援事業計画における数値	
子育て	④ 放課後児童クラブ運営事業	昼間保護者が就労等により不在の家庭における小学生を対象に、適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全育成を図る。 平成29年3月31日現在	放課後児童クラブ運営指針に基づき、定期的な研修等による職員の質の確保や児童の安全対策を行い、児	280人/年 (1年あたりの利用人数) ※登別市子ども・子育て支援事業計画における数値	

担当グループ	主要事業	H 2 8 事業実績（内容・成果）	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画（目標値）	その他特記事項
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 富岸放課後児童クラブ 57名 ・ 常盤放課後児童クラブ 23名 ・ 若草放課後児童クラブ 46名 ・ 青葉放課後児童クラブ 25名 ・ 幌別西放課後児童クラブ 19名 ・ 鷺別放課後児童クラブ 33名 ・ 登別放課後児童クラブ 16名 ※授業のある日（月～金曜日）～放課後から18時30分まで 長期休業日（土曜日を除く）～8時から18時30分まで ※土曜日は8時～18時まで	童の安全・安心に過ごせる場を確保するとともに、障がいのある児童の受け入れや放課後子ども教室等の事業との連携を通じ、児童に適切な遊びと生活を与えられる場となるよう努めていく。		
子育て	⑤ 父親の育児参加の支援（育児の指導、育児休暇の保障）	中央及び登別子育て支援センターにて、日頃仕事で忙しい父親を対象に育児指導等を実施 参加人数：173人	年間を通じた実施内容を策定したが、参加する子どもの年齢によって実施が困難な場合があるため、年齢に応じた実施内容の検討が必要である。	H 2 8 年度と同様に事業を進める。	
子育て	⑥ 児童館、放課後児童クラブの時間延長	放課後児童クラブにおいて、月曜日から金曜日の開設時間を18時30分までとして30分の延長を行った。	保護者の就労支援の面から、引き続き継続して実施していくことが必要である。	H 2 8 年度と同様に事業を進める。	
市民サービス	⑦ 育休等推進の働きかけの継続	国や道のリーフレット等を広報紙及び市民窓口へ設置し情報提供した。	男女共同参画の主旨を理解してもらえるよう掲示する。	引き続き国や道からの情報提供を行う。	
子育て		『登別市子ども・子育て支援事業計画』の一環と位置づけ窓口、広報への掲載やパンフレット等で周知	育児休業推進のため、引き続き、周知に努めることが必要である。		

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画（目標値）	その他特記事項
商工労政		国や道、関係機関等が発行したパンフレットを公共施設に設置するとともに、広報紙による周知、関連通知についてメール等により各関係団体及び事業所への情報提供を行った。	継続的な情報発信による育休等への理解促進	国や道、関係機関等が発行したパンフレットを公共施設に設置するとともに、広報紙による周知、関連通知についてメール等により各関係団体及び事業所への情報提供を行う。	
市民サービス	⑧ ワーク・ライフ・バランスの考え方	2-(2)-⑦に掲載			
子育て	について、様々な職種、世代、地域へ	『登別市子ども・子育て支援事業計画』の一環と位置づけ窓口、広報への掲載やパンフレット等で周知	仕事と子育ての両立のため、引き続き、周知に努める必要がある。		
商工労政	女性活躍推進法に基づく多様な視点からの広報・啓発活動	①平成29年1月23日から4日間「介護サービス人材確保対策事業」を実施し、啓発を図るとともに仕事と子育ての両立を目指す女性を支援した。 ②平成29年2月23日に「ワーク・ライフ・バランス実践講座（マザーズハローワーク就職支援事業）」、女性の就職に向けた支援や各種子育てに対する支援制度を紹介した。	介護人材不足解消のため、介護サービスへの理解啓発を図る。	①「介護サービス人材確保対策事業」を実施し、啓発を図るとともに仕事と子育ての両立を目指す女性を支援する。 ②「ワーク・ライフ・バランス実践講座（マザーズハローワーク就職支援事業・働き方改革関連事業）」、女性の就職に向けた支援や各種子育てに対する支援制度を紹介し、啓発を図るとともに仕事と子育ての両立を目指す女性を支援する。	
市民サービス	⑨ 仕事と育児・介護など	2-(2)-⑦に掲載			

担当グループ	主要事業	H 2 8 事業実績（内容・成果）	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画（目標値）	その他特記事項
子育て	家庭生活や地域生活との両立について職種、世代、地域へ女性活躍推進法に基づく意識啓発のための情報提供	『登別市子ども・子育て支援事業計画』の一環と位置づけ窓口、広報への掲載やパンフレット等で周知	男女共同参画推進のため、引き続き、周知に努めることが必要である。		
高齢・介護		実績なし			
商工労政		国が発行したパンフレット（地域の特性を活かしたワーク・ライフ・バランスの推進）等を市民ロビー等に設置するとともに、国・道等からの啓発情報について、メール等により各関係団体並びに事業所に発信し、啓発を図った。	継続的な情報発信による意識啓発の促進	国が発行したパンフレット（地域の特性を活かしたワーク・ライフ・バランスの推進）等を市民ロビー等に設置するとともに、国・道等からの啓発情報について、メール等により各関係団体並びに事業所に発信し、啓発を図る。	
子育て	⑩ 仕事と生活との両立を支援するための制度の定着・利用ができる環境の整備に向けた情報提供	『登別市子ども・子育て支援事業計画』の一環と位置づけ窓口、広報への掲載やパンフレット等で周知	仕事と子育ての両立のため、引き続き、周知に努めることが必要である。		
土木・公園	⑪ 都市公園施設長寿命化事業	都市公園遊戯施設改築 3公園	国からの交付金が当初要望額より減額となった為、遊戯施設の改築を計画のとおり行うことが出来なかつ	都市公園遊戯施設改築 7公園	

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画（目標値）	その他特記事項
			た。		
子育て	⑫ 登別市子ども・子育て支援事業計画（平成27年度～平成31年度）	平成25年度に実施した「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」を踏まえ、登別市における子育て支援の基本的方向性とその施策を示した。	各施策の実施について、必要に応じて、改善・見直しを行うとともに、教育・保育の量が大きく乖離しているかどうか、確認が必要である。	確保策（認可定員数等） 1号認定：685人 2号認定：363人 3号認定：208人 など ※登別市子ども・子育て支援事業計画における数値	
2-(2) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの育ちや、保護者の安心感から考えると、児童生徒も減ってきているので、放課後児童クラブと児童館の連携が更に促進されていることが良いと思います。 ・放課後児童クラブの時間延長は、ニーズにあって良いと思います。 ・放課後児童クラブの利用時間が延長され、さらに利用しやすくなったと思います。 ・子どもを預かる時間や年齢だけでなく、子どもが充実した時間を送ることができる受け入れ体制を構築していく必要があると思います。 			
(3) 子育てに関する相談支援体制の整備					
子育て	① 子育て支援センター運営費	実施場所：中央子育て支援センター及び登別子育て支援センター 育児相談：306人 子育て講座：1,062人 あそびの紹介：567人 父親開放日：173人 センター開放：17,564人 育児サークルの育成・支援：201人 保育所開放事業：169組 (親：169人 子：198人)	一般開放時の行事内容によっては参加者が多く、スペースも限られていることから、参加者が手狭さを感じることもある。	2,293人回/月 (1月あたりの利用回数) ※登別市子ども・子育て支援事業計画における数値	

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画（目標値）	その他特記事項
		児童用図書の貸出し：1,007人 移動子育て支援センター事業：559組 (親：559人 子：503人)			
子育て	② 家庭児童相談室、母子自立支援員経費	ひとり親家庭や寡婦からの相談等及び自立に必要な指導の実施 母子・父子自立支援員兼家庭相談員 1名配置 ・相談件数 189件	他の関係機関との連携を深めるとともに、より多くのひとり親家庭への有益な情報提供等を行うため、引き続き周知に努めることが必要である。		
2-(3) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		・子育て支援センターは、子育ての孤独感解消にもつながっており、今後も大切に続けていくことが好ましいと思います。			
(4) 児童虐待等の防止対策の充実 追加項目					
市民サービス	① 情報共有体制の強化（児童虐待等の防止策）	要保護児童対策地域協議会実務者会議に出席し情報共有した。 市民相談等で児童虐待が疑われる場合は、関係部署との連携を図った。		引き続き関係グループとの連携を図って行く。	
社会福祉		実績なし			
生活支援		平成28年度要保護児童対策地域協議会実務者会議に参加し関係機関と情報共有を図ることができた。	児童虐待ケースの多様化に伴い、個別事案内容によっては関係機関の拡充が必要と思われる。	児童虐待の対応について、子育てグループや児童相談所との連携強化を図る。	
子育て		①業務関係機関との連絡調整を密にし、情報の共有化を図った。 ②児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応の取組の	・個別の事案、ケースの多様化に伴い、参加する関係機関の拡充を検討する必要がある	H28年度と同様に事業を進める。	

担当グループ	主要事業	H 2 8 事業実績（内容・成果）	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画（目標値）	その他特記事項
		<p>推進に向けて、子育てグループとの情報共有、支援協力のために随時ケース会議を実施した。</p> <p>・H28 年度実績：年 15 回実施</p> <p>③平成 28 年度要保護児童対策地域協議会実務者会議を開催し、関係機関との情報共有や今後の支援の在り方について協議した。</p> <p>・H28 年度実績：年 2 回実施</p>	<p>ある。</p> <p>・ケース会議、実務者会議の検討事項及び内容、回数について、より適切な形を模索していく必要がある。</p>		
健康推進		<p>健康推進グループ、子育てグループ子ども虐待相談室において2か月に1回、定期的に連絡会を開催し、情報の共有を図り必要な支援につなげた。</p>	<p>定期連絡会を開催する他に、緊急性のある場合は必要時個別ケース会議を開催するなど関係機関と情報共有が図れた。</p>	<p>健康推進グループと子育てグループ子ども虐待相談室において2か月に1回、定期的に連絡会を開催する。</p>	
学校教育		<p>業務関係機関との連絡調整を密にし、情報の共有化を図り、虐待等の防止の体制づくり強化に努めた</p>	<p>特になし</p>	<p>H 2 8 年度と同様の内容で事業を進める</p>	
市民サービス	② 早期発見 早期対応への 取組みの 推進 (児童虐待 等の防止 策)	<p>市民相談等で児童虐待が疑われる場合は、関係部署との連携を図った。</p>		<p>引き続き関係グループとの連携を図って行く。</p>	
社会福祉		<p>実績なし</p>			
生活支援		<p>児童虐待等の防止策は、子育てグループと常に連携を図ることができた。</p>	<p>児童虐待の発見までに時間を要した。</p>	<p>児童虐待の防止策は、子育てグループや児童相談所など、関係機関との連携強化を図る。</p>	

担当グループ	主要事業	H 2 8 事業実績 (内容・成果)	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画 (目標値)	その他特記事項
子育て		<p>①業務関係機関との連絡調整を密にし、情報の共有化を図り迅速な対応を図った。(要保護児童と子育て援助家庭情報：関係機関からの相談及び通報)</p> <p>②児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応の取組の推進に向けて、子育てグループとの情報共有、支援協力のために随時ケース会議を実施した。</p> <p>・H28 年度実績：年 15 回実施</p> <p>③平成 28 年度要保護児童対策地域協議会実務者会議を開催し、関係機関との情報共有や今後の支援の在り方について協議した。</p> <p>・H28 年度実績：年 2 回実施</p>	<p>・要対協としてのケース受理を、どのような基準で行うのか、明確にしていかなければならない。</p> <p>・個別の事案、ケースの多様化に伴い、参加する関係機関の拡充を検討する必要がある。</p> <p>・また、ケース会議、実務者会議の検討事項及び内容、回数について、より適切な形を模索していく必要がある。</p>		
健康推進		<p>妊娠届出時に、妊婦全員 (332 人) にアンケート調査を行い、生活基盤の弱い世帯や育児不安の強い妊婦を把握して、子育て期まで継続した支援につなげている。</p>	<p>未入籍など家庭基盤が弱い妊婦が少なくない実態にある。</p>	<p>妊娠届出時に妊婦全員に対し育児に関するアンケート調査を継続する。</p> <p>育児不安が強いなど支援が必要な妊婦に対し、子育て期まで継続した支援を行う。</p>	
学校教育		<p>児童の学校及び家庭での生活の変化を見逃さず、虐待等の早期発見に努めた</p>	<p>特になし</p>	<p>H 2 8 年度と同様の内容で事業を進める</p>	
健康推進	③ はつらつママリフレッシュ講座	<p>子育て中の若い母親の健康づくり、生活習慣病予防に向けた運動習慣の習得を目的として、託児付きの運動講座を年 4 クール (1 クール 10 日間) アーニスのおにスタジオで実施し、40 人が参加した。事後フォローの場として、健康講演会を年 2 回実施し、19 人が参加した。</p>	<p>年 4 クールの運動講座は好評のため、継続実施する。</p> <p>年 2 回の運動講座については、運動に加え、食育を特化し、より健康づくりを推</p>	<p>運動講座：年 4 クール (1 クール 10 日間)</p> <p>健康講演会：年 2 回</p> <p>*いずれも託児付き</p>	

担当グループ	主要事業	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画（目標値）	その他特記事項
		健康づくりに加えて、育児ストレスを発散できたとの評価を得ている。	進捗内容となっていることから、周知を徹底し、参加者増加に努める。		
図書館	④ 関連図書の収集と図書情報の提供	・児童虐待関連書 75冊 (H29.6.15現在)	アーニス分館にコーナーがあることの周知が十分でなかった。	引き続き、関連図書の収集と図書情報の提供、及び市民への周知に努める。	
2-(4) 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		<ul style="list-style-type: none"> ・はつらつママリフレッシュ講座は、健康づくりとストレス発散になるので良い取組だと思います。 ・関係部署での連携が図られていることに安心いたしました。 ・ケース会議、実務者会議などで、関係機関同士の情報共有を的確に行い課題の解決を図る必要があると思います。 			

計画の推進体制

担当グループ	取り組み事項	H28事業実績（内容・成果）	H28事業の課題	H29年度事業計画（目標値）	その他特記事項
1.市における推進体制の整備					
市民サービス	① 登別市男女共同参画推進本部会議開催	未実施。	男女共同参画実施事業の推進状況の報告をしていなかった。	登別市男女共同参画推進本部会議へ平成28年度男女共同参画事業の進捗状況について報告する。	
市民サービス	② 登別市男女共同参画推進庁内連絡会議開催	未実施。	男女共同参画実施事業の推進状況の報告をしていなかった。	登別男女共同参画推進庁内連絡会議へ平成28年度男女共同参画事業の進捗状況について報告する。	

担当グループ	取り組み事項	H 2 8 事業実績 (内容・成果)	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画 (目標値)	その他特記事項
市民サービス	③ 職員研修の実施	「DVに関する相談業務等職員研修会」を平成28年11月24日(木)開催 特定非営利法人ウエメンズネットマサカーネ理事佐々木博美氏を講師に招きDV被害者の支援方法を学び窓口及び相談業務についての対応を学んだ。	相談者が窓口へ来庁時には、DVの自覚がない方もいるので、傾聴し相談内容を把握に努める。また、研修は異動後の早い時期に開催をするよう努める。	DVに関する相談業務等職員研修会を5月18日(木)開催した。	来年度においても年度初めに開催を進めて行く。
人事・行政管理		「DVに関する職員研修会」を11月24日に実施 「女性ステップアップ研修」11月9日に実施	特になし	継続して実施していく。	
市民サービス	④ 各種研修会や講演会への参加	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度 デートDV防止・性教育等に関する研修会 平成29年1月12日(木) 苫小牧市民会館 予防教育の必要性と性暴力被害者支援の取組等について学んだ。 平成28年度胆振管内配偶者暴力相談支援連絡調整会議 平成28年11月15日(火) 道立女性援助センターの取組と児童相談所の取組状況についての情報 女性プラザまつり 2016 へ参加 平成29年11月10日(木) 	出張旅費が限られているため庁用車等で参加できる範囲となっている。	相談等に役立てるためDV関係の研修を優先して参加していく。	

担当グループ	取り組み事項	H 2 8 事業実績（内容・成果）	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画（目標値）	その他特記事項
		地域でイキイキ活動する男性 活動内容と講演会受講 9 名参加 ・平成 2 8 年度女性の活躍推進に係る地域連携会議平成 2 8 年 9 月 1 3 日(火)道及び各市町村の取組の情報交換会			
市民サービス	⑤ 登別市男女共同参画推進部 会開催	未実施			
市民サービス	⑥ 職員による横断組織を活か す男女共同活動の推進	未実施			
市民サービス	⑦ 庁内 L A N を使った情報提 供（国の施策・法律改正及び女 性活躍推進法等の周知）	全庁的には、発信することが できなかったが、該当グループ 等へは、メール等で情報提供し た。		法律等について、周知してい く。	
1 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		<ul style="list-style-type: none"> ・計画を推進する上でこうした会議が開かれ現状と課題が共通認識になって、その内容が各部、課で論議されてこそ各施策が拡充されていくと考えます。 ・職員による横断組織を活かす男女共同活動の推進が未実施だったので、次回実施することを望みます。 			
2.市民による推進体制の整備					
市民サービス	① 登別市男女共同参画社会づ くり推進会議の開催	推進会議 7 回、各部会（広報、 フォーラム、アンダンテ）12 回 開催した。	構成団体の見直しが必要である。	基本計画を推進するために登 別市男女共同参画社会づくり推 進会議委員と事業等について協 議していく。 平成 2 9 年 4 月 2 5 日(火)新	

担当グループ	取り組み事項	H 2 8 事業実績（内容・成果）	H 2 8 事業の課題	H 2 9 年度事業計画（目標値）	その他特記事項
				委員の委嘱を行った。	
市民サービス	② 市民意識の向上のための工夫	活動内容等について、広報のぼりべつ小特集及び男女共同参画情報紙「アンダンテ」において周知。	その他に男女共同参画の推進に有効な更なる事業展開等が必要である。	市民が読みたくなる情報紙等の提供を行っていく。	
商工労政	③ 商工会議所との連携による企業等への情報提供	商工会議所への情報提供及びチラシの配布・設置により会員企業への周知を実施。	市が実施する企業への周知メール及び商工会議所への情報提供による手法を実施しているが、全ての企業に迅速に行き渡る情報提供手段がない。	引き続き商工会議所への情報提供及びチラシの配布・設置により会員企業への周知を実施するとともに、市が実施する企業周知メールの受信者数の累増を図る。	
市民サービス	④ のぼりべつ男女平等参画懇話会・プラタナス等との連携	各女性団体のフォーラム及び男女共同参画フォーラム2016開催について協働で実施及び共催し事業を進めた。	各フォーラム等の参加者が減少傾向にあるためテーマや内容の工夫を図る必要がある。	男女共同参画の推進のため、引き続き協働で活動をする。	
市民サービス	⑤ 女性活躍推進法に基づく協議会（部会）の開催	法に基づく新たな協議会の設置は困難であることから、登別市男女共同参画社会づくり推進会議で行っている活動を女性活躍に位置付け活動した。	登別市男女共同参画社会づくり推進会議の事業に女性活躍に関連するものを含めて展開する必要がある。	登別市男女共同参画社会づくり推進会議の事業女性活躍推進について、情報紙アンダンテや広報のぼりべつに啓発記事を掲載していく。	
2 男女共同参画社会づくり 推進会議コメント		・フォーラム等の参加は、65歳以上の方が多く、若い世代の方にも参加していただける内容とすることが望ましいと思います。			